



松 下 建 第 2 4 1 号
令 和 0 2 年 0 1 月 2 8 日

国土交通大臣 殿

松原市長



社会資本総合整備計画について

「社会資本整備総合交付金に係る計画等について」第1第1項に基づき、別添のとおり社会資本総合整備計画を取りまとめたので提出する。

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月28日

計画の名称	松原市公共下水道事業 (その3)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)												
交付対象	松原市												
計画の目標	本市公共下水道は、昭和45年度に大和川下流西部流域関連公共下水道として着手し、昭和60年に供用開始を行った。以降、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的として、市街化区域での整備を図っており、平成30年度末において普及率は97.9%に達している。しかし、未だ汲り便所等の未普及地域からは、早期公共下水道整備のニーズが高く、引き続き普及促進を進めることが急務となっている。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A + B + C + D)	949	A	947	B	0	C	12	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	1.26	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 R2当初	中間目標値 R4末	最終目標値 R6末
1	下水道処理人口普及率を97.9% (令和元年度当初) から98.4% (R06年度末) に増加 下水道普及率 R31 3時点 行政区内人口 119,864 (下水道普及人口/行政区内人口) × 100%	98%	98%	98%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	-	産城水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む
当初現況値 (97.9%) / 中間目標値 (98.2%) / 最終目標値 (98.4%)											

案件番号: 0000152414

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別編設計画 策定状況	
		R02	R03	R04	R05	R06														
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	松原市	直接	松原市上下水道部	管渠 (汚水)	新設	今池処理区	污水管渠整 km、実施設計	松原市	■	■	■	■	■	937		—	
											小計						937			
											合計						937			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	効果測定 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	松原市	間接	個人	—	—	水洗便所改造補助事業（市内一円）	水洗便所改造補助	松原市	■	■	■	■	■	12	—	—
		水洗便所改造時に助成金を補助することにより、公共下水道の接続率の向上を図る。																	
											小計						12		
											合計						12		

事前評価チェックシート

計画の名称： 松原市公共下水道事業（その3）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ②上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ③地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ④まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑤地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑥十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑦事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ①まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ②住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ③継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ④計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

